



蜂にご用心！

みなさん、夏バテすることなくお過ごしでしょうか。私も大間病院に赴任して早くも3年目になりましたが、今年の下北の暑さに驚いています。ようやく涼しくなりほっとしています。

さて、今年は蜂が多くいるようで、8月に入り大間病院にも蜂に刺されて受診される方が増えてきました。夏から秋にかけてまだまだ注意が必要です。

今回は蜂に刺された時の対処法について少しお話しします。ハチに刺されないようにいくら注意していても、不幸にして被害にあうことも少なくありません。ハチに刺されても、重症になることは稀ですが、しっかり処置する必要があります。

① 速やかに刺された場所から離れる

刺された場所が巣の近くなら、速やかにその場所から離れてください。少し身をかがめるようにして、姿勢を低くして逃げます。逃げる際は手ではらったりするとハチを刺激して危険です。1匹のハチに刺されると毒液（興奮物質）が空中にまき散らされるため、その場に止まっているとさらに多数のハチの攻撃を受けることがあります。

② 傷口を流水（水道水など）でよく洗い流す

傷口を流水（水道水など）でよく洗い流し、手で毒液を絞り出すようにします。口で吸い出してはいけません。毒を薄める効果（水溶性のタンパク質が水に溶ける）と傷口を冷やし腫れや痛みを和らげる効果が期待できます。ただし、ショック症状の発現を予防する効果はありません。

③ 患部に虫刺されの薬を塗る

患部に虫刺されの薬（副腎皮質ホルモン含有の抗ヒスタミン軟膏）を塗ります。アンモニアは全く効果がありませんので注意してください。



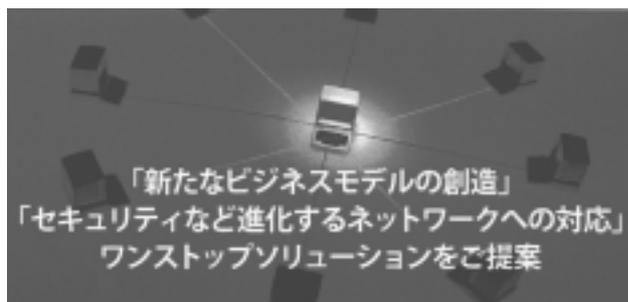
④ 速やかに医療機関を受診する

以上の処置を施した後、できるだけ速やかに医療機関を受診してください。

蜂に刺された時に最も注意することはアナフィラキシーショックです。死亡することもある恐ろしいものです。アナフィラキシー症状は極めて短時間（早い時は数分）で起こります。刺された症状以外で少しでも変わった症状がみられたら速やかに医療機関を受診してください。アナフィラキシーショックに対してはエピペンという自己注射もあり、当院で処方可能です。

とにかく何かありましたら、まずは大間病院に電話してください。

【お問合せ】大間病院 ☎ 37-2105



FUJITSU パートナー
FUSO DENTSU 扶桑電通株式会社

■青森営業所 青森市長島二丁目13番1号
TEL. 017-775-2031(代) FAX. 017-774-4720

■八戸営業所 八戸市三日町2(青銀明治安田生命ビル)
TEL. 0178-44-1855 FAX. 0178-44-8494

《ホームページアドレス》
<http://www.fusodentsu.co.jp>